

科目名	ストレスマネジメント特論		D3-206	担当教員名	和佐 勝史、石松 一真、別所 一彦、萩原 邦子、飛田 伊都子
単位数	2単位		選択	配当年次	2年次・第3セメスター(通期)
曜日・時限	水曜日・5限目			教室	オンライン授業
授業概要	まずストレスの概念と理論を解説する。次に医療現場で遭遇する様々なストレスを取り上げ、その原因と対応法、医療安全との関連を討議する。				
到達目標	1) ストレスの概念・理論を理解し、説明できる。 2) 臨床現場で遭遇する様々なストレスの内容・原因を理解し、医療安全との関連を説明できる。				
回	日程	見出し	内 容		実践的な 授業方法
1	4/6	ストレスとは (石松)	ストレスの概念と基礎理論について取り上げ、自身の生活とストレスの関連について考える。[ディスカッション]		○
2	4/13	ストレスの生理と心理 (石松)	ストレスにかかわる生理的・心理的メカニズムを概説する。		
3	4/20	ストレス関連疾患 (石松)	ストレス性疾患及びストレスからみた疲労について取り上げる。		
4	4/27	ストレスの評価と対処 (石松)	ストレス状況に対する評価や対処について取り上げる。[ディスカッション]		○
5	5/4	ストレスとライフスタイル (石松)	労働指針と対策に基づく、ストレスと共存できる労働とライフスタイルについて概説する。		
6	5/11	臨床現場でのストレス (和佐)	臨床現場でのストレスを概説し、医療安全におけるストレスマネジメントの重要性を解説する。		
7	5/18	医師が遭遇するストレス の原因と対応(1)(別所)	医師が臨床現場で遭遇するストレスを取り上げ、その原因と対応を討議する。[ディスカッション]		○
8	5/25	医師が遭遇するストレス の原因と対応(2)(別所)	医師が臨床現場で遭遇するストレスを取り上げ、その原因と対応を討議する。[ディスカッション]		○
9	6/8	医師が遭遇するストレス の原因と対応(3)(別所)	医師が臨床現場で遭遇するストレスを取り上げ、その原因と対応を討議する。[ディスカッション]		○
10	6/15	ストレスマネジメント総括 (和佐)	医師の立場から見たストレスマネジメントを総括する。[ディスカッション]		○
11	6/22	看護師における職業性 ストレスとWLB(飛田)	看護師が直面する職業性ストレスとワークライフバランス(WLB)について解説し、関連する研究の動向を解説する。		
12	6/29	医療事故における Second Victim(飛田)	医療事故におけるSecond Victimについて学び、討議する。 [ディスカッション]		○
13	7/6	看護師のストレス要因と コーピング特性(1)(萩原)	看護師のストレス要因とコーピング特性について学び、討議する。 [ディスカッション]		○
14	7/13	看護師のストレス要因と コーピング特性(2)(萩原)	看護師のストレス要因とコーピング特性について学び、討議する。 [ディスカッション]		○
15	7/20	ストレスマネジメント (飛田)	講義の総括をしたのち、医療現場のストレスマネジメントについてのグループ討議を行う。[ディスカッション]		○
キーワード		ストレス、マネジメント、医療安全		履修条件	なし
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。			
	参考書(任意購入)	講義の中で適宜紹介する。			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①討議・発表内容(25%)、②レポート(75%)で評価する。[①授業への前向きな参加、②授業内容への理解を踏まえ、自分の考えを表現できているかを評価します。]			
授業時間外で必要な学修		職場でのストレスに関する自らの経験、自施設の環境を事前に確認しておいてください。			
学生へのメッセージ		積極的に授業に参加してください。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。